

CALSONIC

TEAM IMPUL



Race Report

**2017 AUTOBACS SUPER GT Round6
46th INTERNATIONAL SUZUKA 1000km
2017.8.26 sat~27 sun**

HOSHINO RACING Co.,Ltd.

上位を争うも接触で後退し ノーポイントに終わる

No.12 カルソニック IMPUL GT-R
安田 裕信 / ヤン・マーデンボロー



鈴鹿サーキット（三重県鈴鹿市）
1周 5.807km

今年で最後の開催となった伝統の鈴鹿1000km。TEAM IMPULとしても優勝を含め幾度となく好成績を残してきました。今季ここまで苦戦を強いられていますが、チームの総力で今季初優勝、今季初表彰台を目指して戦いました。

8/26(土)公式予選

天候：☀

コース：ドライ

気温／路面温度：31℃／37℃(Q1 開始時)、31℃／40℃(Q1 終了時)、
31℃／36℃(Q2 開始時)、29℃／35℃(Q2 終了時)

観客動員数：27,500人

GT500 クラス Q1 14:55 ~ 15:10

GT500 クラス Q2 15:40 ~ 15:52



この日の朝、鈴鹿市では降雨があったものの予選時には天候は回復。気温も30℃を越す中予選が行われました。

予選Q1は定刻通り14時55分に開始。カルソニック IMPUL GT-Rは今回、ヤン・マーデンボローがQ1アタックを担当しました。今季5戦が終了し、Q1敗退が続いていたこともあり何としてもQ2へ進出したいところ。ヤンは、予選前お気に入りの音楽を聴いて集中力を高めつつ、気合いを十分に入れてコックピットへ乗り込みました。15分間で行われるQ1前半はピット内で待機。他車も同様で、4分が経過して徐々にコースインを始めるマシンが出てきます。ヤンは残り7分30分を切ろうかというところでピットアウト、アタックへと向かいます。アウトラップ、そして1周十分にタイヤをウォームアップし計測開始。計測1周目で1'48.499をマーク。残り1分を残していたため、継続してアタック。計測2周目では1'48.765とタイムアップならなかったものの、ギリギリQ2へ進出できる上位8台中8位に滑り込み、安田裕信に繋げました。カルソニック IMPUL GT-RのQ2進出は今季初となりました。

Q2も時間通り、15時40分に始まりました。8位通過となったものの、Q2では順位を1つでも上げ、翌日の決勝レースに向けて勢いを付けていきたいところ。12分間のQ2、安田は残り7分20秒でコースインしました。アウトラップ、そして1周十分にタイヤをウォームアップし計測開始。計測1周目で1'48.254をマーク。引き続きアタックを続けます。計測2周目で1'48.244と自己ベストを更新。7位となりました。1000kmと長距離レースのため、予選順位はそこまで重要視されませんが、今季最高予選順位からレースをスタートすることになりました。

8/27(日) 決勝レース

天候：☀

コース：ドライ

気温／路面温度／湿度：30℃／47℃／51%（レース開始前）

観客動員数：45,000 人

決勝レース距離：5.807km×173Laps=1004.611km

（最大延長時間 18:28）

パレードラップスタート 12:30



夏休み最後の週末に行われた最後の鈴鹿1000kmレースということで、決勝日も大観衆が鈴鹿サーキットへ詰めかけました。来季の鈴鹿でのシリーズ戦は5月に移動し、通常距離300kmレースで行われる予定。それだけに例年以上の盛り上がりを見せました。他にも予選日夜の前夜祭と決勝レース前に、監督の星野一義の日産R92CP、No.37 LEXUS TEAM KeePerTOM'S関谷正徳監督のトヨタTS010によるデモランイベントが行われ、こちらも非常に盛り上がりました。

約6時間という長丁場のため通常のラウンドより早い時間にスタート進行が実施。この日の天候も快晴。厳しい暑さの下レースが行われました。12時30分にパレードラップが始まり、フォーメーションラップを経てレーススタートを切りました。7番グリッドからスタートするカルソニック IMPUL GT-Rのスタートドライバーはヤン・マーデンボロー。スタート、オープニングラップでNo.100 RAYBRIG NSX-GT(伊沢拓也選手)をかわし6位へ浮上。7周目にGT300との交錯が始まると、5位を走行するNo.46 S Road CRAFTSPORTS GT-R(千代勝正選手)に接近していきますが、間にGT300マシンを挟んだりしてなかなか順位浮上なりません。12周目、ポールポジションからスタートしたNo.24 フォーラムエンジニアリングADVAN GT-R(ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ選手)のペースが上がらず、1～6位が団子になって走行する展開に。ヤンもこれにしっかりと食らい付き、前を伺います。15周目、このバトルの最中No.46 GT-Rが接触しマシンを破損して脱落したため、5位へ。続く16周目のホームストレートで順位を落としていたNo.24 GT-Rをかわし4位へと順位を上げます。ここからは、前後の車両ともに間隔が空いて小康状態となります。

29周目に1回目のピットインを敢行し、安田裕信にドライバー交代。タイヤ交換と給油を終えてコースへと戻ります。ピットに入る前に後ろを走行していたNo.16 MOTUL MUGEN NSX-GT(ジェンソン・バトン選手)に抜かれてしまい、全車が1回目のピット作業を終えて5位となります。しかし、このすぐ直後32周目にNo.16 NSXにドライブスルーペナルティが出たため4位へと再浮上。ここから、安田は表彰台圏内を目指し、3位を走るNo.64 Epson Modulo NSX-GT(松浦孝亮選手)と5位を走るNo.23 MOTUL AUTTECH GT-R(松田次生選手)と3位争いを展開します。しかし43周目、GT300マシンがクラッシュしたことでセーフティーカーが導入されます。マシン回収と隊列の整列が終わると48周目にリスタート。このリスタートの直前、最終コーナーを立ち上がってくる安田駆るカルソニックGT-Rの左リアの部品が吹き飛んで脱落。しかし、順位を落とすことなく4位のまま走行を続けます。

57周目、2度目のピットイン。この時、走行に影響がなかったため破損した左リア部品の修復はせず、ルーティンの作業とヤンへのドライバーチェンジを終えてピットアウトします。第3スティントはNo.1 DENSO KOBELCO SARD LC500(ヘイキ・コバライネン選手)とNo.23 GT-R(ロニー・クインタレッリ選手)に先行を許してしまい、6位を走行する展開となります。5位を走行するNo.19 WedsSport ADVAN LC500(小林可夢偉選手)へのバトルへ持ち込もうとすると、すぐ後ろの7位を走行するNo.36 au TOM'S LC500(ジェームス・ロシター選手)へ逆に接近されるという状態に。

全車徐々に3度目のピット作業が始まる前後からヤンはペースを上げられず、2台に抜かれてしまいます。87周目、3回目のピットへ。安田へ交代して43秒1の作業時間でコースへと戻ります。ピット作業を終えると6位を走行します。95周目、GT300マシンのクラッシュで2度目のセーフティーカーが導入。マシン回収、隊列整列を終え103周目にリスタートし、安田は翌104周目のホームストレートでNo.1 LC500(平手晃平選手)を捉え5位へ。108周目にはNo.23 GT-Rにドライブスルーペナルティが出て再び4位まで順位を戻します。しかしこの直後109周目、No.100 NSX(山本尚貴選手)にオーバーテイクを許し5位となります。この後、安田は順位こそ守ったもののペースを満足に上げられず後続6位から9位のマシンを従えて数珠つなぎの走行となり苦しい展開となりました。

115周目4度目のピット作業を敢行。ヤンヘドライバーチェンジし、いよいよ終盤戦へと入っていきます。しかし、120周目、No.24 GT-Rにかわされるなど順位を落としてしまっていたヤンは、シケインからの立ち上がりでNo.36 LC500(ジェームス・ロシター選手)のインに飛び込んだものの接触。スピン、コースアウトさせてしまいました。ヤンがドライブするカルソニックGT-R自体もこれにより右フロントを破損してしまいペースダウン。順位を落とすもののそのまま走行しますが、部品が散乱し破損状況もひどくなり122周目にオレンジディスクが提示。ピットインし補修しコースへと戻るものの1周遅れの13位まで順位を落としてしまいました。129周目にはこの接触の責任を問われドライブスルーペナルティが出されてしまいました。再度ピットインし、ピットロードをドライブスルー。ペナルティを消化してコースへと戻ると14位。ポイント圏外となりました。ヤンは136周目、焦りからかスプーンで単独スピンするなど踏んだり蹴ったりの展開となっていました。

マシン補修とペナルティ消化を含めると7回目のピットインとなりましたが、147周目にルーティンの最後のピットイン。給油とタイヤ交換、安田に最後のドライバー交代を行います。最終スティントは周回遅れのため、前を譲りながらの歯がゆい走行となった安田。レースは2度のセーフティーカーランがあり最大延長時間の18:28を超えたため、優勝マシンが171周目周回を終えた時点でフィニッシュ。カルソニック IMPUL GT-Rは最終的に終盤、アクシデント等により3台脱落したため2周遅れの11位となりましたが、あと1つ順位が足らずにポイント獲得ならず。レース距離が700km以上のためボーナスポイントが入る貴重なラウンドではありましたが、今季3度目のノーポイントレースに終わりました。



完走こそしたものの、今一步上位に入るだけの強さを発揮できないだけでなく、ミスでレースを落とす無念の結末となってしまうスポンサー企業様やファンの皆さんには申し訳ない結果となってしまいました。残るはウェイトハンディが軽減される、第7戦タイと最終戦もてぎのみとなりました。これまで以上に厳しい戦いが待ち構えているかと思いますが、起死回生のレースを披露できるよう準備に勤しんでいきます。引き続き、カルソニック IMPUL GT-Rへのご声援をよろしくお願いいたします。

カルソニックIMPUL GT-R 2017年シーズン ここまでの戦績

第1戦岡山	予選13位	決勝8位
第2戦富士	予選12位	決勝14位
第3戦オートポリス	予選9位	決勝7位
第4戦SUGO	予選9位	決勝11位
第5戦富士	予選10位	決勝5位
第6戦鈴鹿	予選7位	決勝11位
ドライバーズランキング15位 / チームランキング13位		

(第5戦富士終了時点)



TEAM IMPUL Next Race & Event Information

- 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第5戦 9/9(土)~10(日) オートポリス
- 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第6戦 9/23(土)~24(日) スポーツランドSUGO
- SUPER GT 第7戦 10/7(土)~8(日) チャン・インターナショナル・サーキット (タイ)

www.impul.co.jp



@IMPUL_official



IMPUL.official



2017 年 協賛会社様

NISSAN

nismo



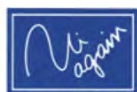
BRIDGESTONE

Mobil 1



日産大阪

ITOCHU
PROPERTY
DEVELOPMENT, LTD.



JVCKENWOOD



Ki i V A
ENERGY DRINK

JUNACK

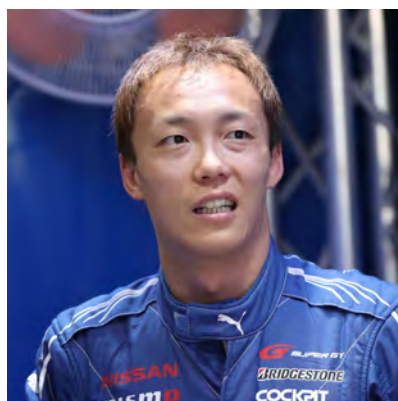


ThreeBond



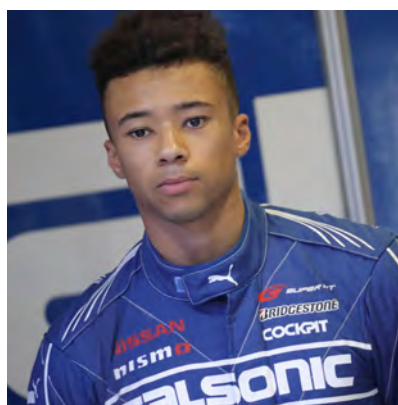
ご支援 誠にありがとうございます。敬称略・順不同

ドライバーからのコメント



安田 裕信
Hironobu Yasuda

残念なレースになってしまいました。表彰台の可能性があっただけに非常に悔しいですが、後半戦頑張ります。



ヤン・マーデンボロー
Jann Mardenborough

接触でレースを失い申し訳なく思います。残り2戦頑張りますので、応援よろしくお願いします。



8/26(土)公式予選

天候：☀

コース：ドライ

気温／路面温度：31℃／ 37℃(Q1 開始時)、31℃／ 40℃(Q1 終了時)、
31℃／ 36℃(Q2 開始時)、29℃／ 35℃(Q2 終了時)

観客動員数：27,500 人

GT500 クラス Q1 14：55 ～ 15:10

GT500 クラス Q2 15:40 ～ 15:52



■ Qualifying								2017.8.26	
Po	No	Machine	Driver	Q1	Q2	Tire	WH		
1	24	フォーラムエンジニアリングADVAN GT-R NISSAN GT-R NISMO GT500 / NR20A	佐々木 大樹 J.P.デ・オリベイラ	1'48.191	1'47.074 R	YH	6		
2	19	WedsSport ADVAN LC500 LEXUS LC500 / RI4AG	関口 雄飛 国本 雄資 小林 可夢偉	1'47.582	1'47.269 R	YH	26		
3	17	KEIHIN NSX-GT Honda NSX / HR-417E	塚越 広大 小暮 卓史	1'48.407	1'47.648	BS	36		
4	64	Epson Modulo NSX-GT Honda NSX / HR-417E	ベルトラン・バゲット 松浦 孝亮	1'48.224	1'47.812	DL	6		
5	46	S Road CRAFTSPORTS GT-R NISSAN GT-R NISMO GT500 / NR20A	本山 哲 千代 勝正	1'47.588	1'47.977	MI	46		
6	100	RAYBRIG NSX-GT Honda NSX / HR-417E	山本 尚貴 伊沢 拓也	1'47.576	1'48.202	BS	44		
7	12	カルソニック IMPUL GT-R NISSAN GT-R NISMO GT500 / NR20A	安田 裕信 ヤン・マーデンボロー	1'48.499	1'48.244	BS	26		
8	37	KeePer TOM'S LC500 LEXUS LC500 / RI4AG	平川 亮 ニック・キャンディ	1'48.196	1'48.713	BS	84		
9	16	MOTUL MUGEN NSX-GT Honda NSX / HR-417E	武藤 英紀 中嶋 大祐 ジェンソン・バトン	1'48.588		YH	14		
10	36	au TOM'S LC500 LEXUS LC500 / RI4AG	中嶋 一貴 ジェームス・ロシター	1'48.825		BS	88		
11	6	WAKO'S 4CR LC500 LEXUS LC500 / RI4AG	大嶋 和也 A.カルダレリ	1'49.002		BS	86		
12	23	MOTUL AUTOTECH GT-R NISSAN GT-R NISMO GT500 / NR20A	松田 次生 ロニー・クインタレリ	1'49.146		MI	82		
13	38	ZENT CERUMO LC500 LEXUS LC500 / RI4AG	立川 祐路 石浦 宏明	1'49.196		BS	82		
14	1	DENSO KOBELCO SARD LC500 LEXUS LC500 / RI4AG	ヘイキ・コバライネン 平手 晃平	1'49.229		BS	72		
15	8	ARTA NSX-GT Honda NSX / HR-417E	野尻 智紀 小林 崇志	1'50.120		BS	62		

・タイヤ=BS：ブリヂストン／DL：ダンロップ／MI：ミシュラン／YH：ヨコハマ
・WH=ウェイトハンディキャップ(kg)



8/27(日)決勝レース

天候：☀

コース：ドライ

気温／路面温度／湿度：30℃／ 47℃／ 51%（レース開始前）

観客動員数：45,000 人

決勝レース距離：5.807km×173Laps=1004.611km

(最大延長時間 18:28)

パレードラップスタート 12:30



■ Race (171Laps)								2017.8.27	
Po	No	Machine	Driver	Laps	Best Lap	Diff.(km/h)	Tire	WH	
1	64	Epson Modulo NSX-GT Honda NSX / HR-417E	ペルトラン・バゲット 松浦 孝亮	171	1'52.068	5:51'16.244	DL	6	
2	23	MOTUL AUTECH GT-R NISSAN GT-R NISMO GT500 / NR20A	松田 次生 ロニー・クインタレッリ	171	1'52.791	12.150	MI	82	
3	100	RAYBRIG NSX-GT Honda NSX / HR-417E	山本 尚貴 伊沢 拓也	171	1'52.474	15.737	BS	44	
4	19	WedsSport ADVAN LC500 LEXUS LC500 / RI4AG	関口 雄飛 国本 雄資 小林 可夢偉	171	1'51.721	32.852	YH	26	
5	24	フォーラムエンジニアリングADVAN GT-R NISSAN GT-R NISMO GT500 / NR20A	佐々木 大樹 J.P.デ・オリベイラ	171	1'51.524	34.089	YH	6	
6	37	KeePer TOM'S LC500 LEXUS LC500 / RI4AG	平川 亮 ニック・キャッシュディ	171	1'53.121	36.330	BS	84	
7	6	WAKO'S 4CR LC500 LEXUS LC500 / RI4AG	大嶋 和也 A.カルダレッリ	171	1'53.529	37.012	BS	86	
8	8	ARTA NSX-GT Honda NSX / HR-417E	野尻 智紀 小林 崇志	171	1'53.247	1'58.410	BS	62	
9	36	au TOM'S LC500 LEXUS LC500 / RI4AG	中嶋 一貴 ジェームス・ロシター	170	1'53.201	1Lap	BS	88	
10	38	ZENT CERUMO LC500 LEXUS LC500 / RI4AG	立川 祐路 石浦 宏明	169	1'53.043	2Laps	BS	82	
11	12	カルソニック IMPUL GT-R NISSAN GT-R NISMO GT500 / NR20A	安田 裕信 ヤン・マーデンボロー	169	1'52.409	2Laps	BS	26	
12	16	MOTUL MUGEN NSX-GT Honda NSX / HR-417E	武藤 英紀 中嶋 大祐 ジェンソン・バトン	169	1'52.532	2Laps	YH	14	
13	1	DENSO KOBELCO SARD LC500 LEXUS LC500 / RI4AG	ヘイキ・コバライネン 平手 晃平	168	1'53.243	3Laps	BS	72	
14	46	S Road CRAFTSPORTS GT-R NISSAN GT-R NISMO GT500 / NR20A	本山 哲 千代 勝正	155	1'52.128	16Laps	MI	46	
15	17	KEIHIN NSX-GT Honda NSX / HR-417E	塚越 広大 小暮 卓史	146	1'51.997	25Laps	BS	36	

- ・タイヤ=BS：ブリヂストン／DL：ダンロップ／MI：ミシュラン／YH：ヨコハマ
- ・WH=ウェイトハンディキャップ(kg)

Start Time：12:38'24

Finish Time：18:29'40

SC導入 14:00'15(43Laps) - 14:17'58(47Laps), 15:52'18(94Laps) - 16:14'44(102Laps)

参加台数：15台 出走台数：15台



RANKING

Driver ranking													
Po	No	Driver	Rd1	Rd2	Rd3	Rd4	Rd5	Rd6	Rd7	Rd8	Total	Behind	WH
1	23	松田 次生/ロニー・クインタレッリ	4	8	6	8	15	18			59	-	59
2	37	平川 亮/ニック・キャシディ	20	11	5	1	5	6			48	-11	48
3	6	大嶋 和也/アンドレア・カルダレッリ	15	15		11	2	5			48	-11	48
4	36	ジェームス・ロシター	6	6	20	4	8	3			47	-12	47
5	38	立川 祐路/石浦 宏明	8	21	1		11	2			43	-16	43
6	36	中嶋 一貴	6		20	4	8	3			41	-18	47
7	1	ヘイキ・コバライネン/平手 晃平	11	4		20	1				36	-23	36
8	8	野尻 智紀/小林 崇志	1	2		7	21	4			35	-24	35
9	100	山本 尚貴/伊沢 拓也		5	12	2	3	13			35	-24	35
10	64	ペルトラン・バゲット/松浦 孝亮				3		25			28	-31	28
11	46	本山 哲/千代 勝正			8	15					23	-36	23
12	19	関口 雄飛	5	1	3		4	10			23	-36	23
13	19	国本 雄資	5		3		4	10			22	-37	23
14	17	塚越 広大 /小暮 卓史		3	15						18	-41	18
15	12	安田 裕信/ヤン・マーデンボロー	3		4		6				13	-46	13
16	24	佐々木 大樹/ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ	1		2			9			12	-47	12
17	19	小林 可夢偉						10			10	-49	23
18	16	武藤 英紀/中嶋 大祐	2			5					7	-52	7
19	36	伊藤 大輔		6							6	-53	47
19	19	山下 健太		1							1	-58	23

Team ranking													
Po	No	Team	Rd1	Rd2	Rd3	Rd4	Rd5	Rd6	Rd7	Rd8	Total	Behind	WH
1	23	NISMO	7	11	9	10	18	21			76	-	59
2	37	LEXUS TEAM KeePer TOM'S	23	14	8	2	8	9			64	-12	48
3	36	LEXUS TEAM au TOM'S	9	9	23	6	11	5			63	-13	47
4	6	LEXUS TEAM LEMANS WAKO'S	18	18	1	13	5	8			63	-13	48
5	38	LEXUS TEAM ZENT CERUMO	11	23	4	1	14	3			56	-20	43
6	1	LEXUS TEAM SARD	14	7	1	23	4	1			50	-26	36
7	100	TEAM KUNIMITSU		8	14	3	6	16			47	-29	35
8	8	AUTOBACS RACING TEAM AGURI		5		8	23	7			43	-33	35
9	64	NAKAJIMA RACING	1	1	2	5	3	28			40	-36	28
10	19	LEXUS TEAM WedsSport BANDO	8	3	6	1	7	13			38	-38	23
11	46	MOLA		2	11	18	3	1			35	-41	23
12	17	KEIHIN REAL RACING	1	6	18			1			26	-50	18
13	12	TEAM IMPUL	6	1	7	1	9	1			25	-51	13
14	24	KONDO RACING	4	1	5		1	11			22	-54	12
15	16	TEAM MUGEN	5	1	2	7		1			16	-60	7

